

フィリップスは、国際連合(国連：UN)が掲げる「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals, SDGs)」に取り組んでいます。SDGsは、人々の生活と地球の健康の向上を目指しています。

フィリップスは、イノベーションを通じてより**健やかで、より持続可能な世界の実現**に取り組みます。

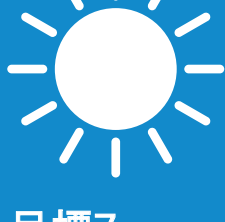
フィリップスは、2025年までに毎年**30億人**の人々の生活を向上させることを目標とします。

フィリップスは、次の目標に対して重点的に取り組むことにより、「**持続可能な開発目標**」における主要な民間プレイヤーとなることを目指します。



### 目標3

すべての年齢の人の健康な生活を確保し、福祉を推進すること



### 目標7

すべての人に安価で信頼でき、持続可能で近代的なエネルギーへのアクセスを確保すること



### 目標12

持続可能な消費と生産のパターンを確保すること

## 目標3：

すべての年齢の人の健康な生活を確保し、福祉を推進すること



女性の健康

**28万9千人**

アフリカでは毎年28万9千人の女性が妊娠および出産により亡くなっています。



子どもの健康

**630万人**

630万人の5歳未満の子どもが予防可能な原因により亡くなっています。



NCDs (非感染性疾患)

**75%**

世界中のすべての死亡の75%がNCDIに因るものです。

➡ **フィリップスの考え**：フィリップスは、非感染性疾患の負担を軽減し、地域における医療システムを強化することが、目標3を達成するためのあらゆる戦略の重要な部分であると考えています。



### 啓発

フィリップスは「Fabric of Africa」キャンペーンを立ち上げ、アフリカにおいて女性が健康であることの重要性と、それが地域の医療システムに及ぼすプラスの影響を強調しています。



### パートナーシップ

フィリップスは国連の「Every Woman Every Child」イニシアティブを支援し、1億人の女性と子どもたちの生活の向上に取り組んでいます。



### 長期的効果につながる改革

フィリップス財団は、パートナー、UNICEF、国際赤十字とともに、それを最も必要としている人々の生活に長期的効果をもたらすイノベーションを推し進めています。



### NCDs (非感染性疾患)

フィリップスが支援するASEAN Non Communicable Diseases (NCDs) Networkは、東南アジアにおけるNCDの増加に立ち向かう医療専門家のコラボレーションを推進しています。



### 保健医療へのアクセス

フィリップスは、移動支援活動用の特殊なバンを通じて「Asha Jyoti」プログラムを支援しています。このプログラムにより、インド国内で過去2年間にほぼ6,000人の女性が乳がん、子宮頸がん、骨粗しょう症の検診を受けました。



### インフラストラクチャ

2014年、フィリップスはケニアのキアンブ郡に、アフリカ初のCommunity Life Centerを開設しました。このCommunity Life Centerは、医療へのアクセスを向上させると同時に日没後の社会活動、教育活動、商業活動を可能にするというコンセプトの証しです。

## 目標7：

すべての人に安価で信頼でき、持続可能で近代的なエネルギーへのアクセスを確保すること



**13億人**

2011年には、13億人、つまり世界人口の18%にあたる人々は電氣を使うことができませんでした。



**95%**

この世界総計の95%の人々は、サブサハラアフリカ(サハラ砂漠以南のアフリカ)および開発途上のアジアに居住しています。



**26億人**

26億人(世界人口の38%)の人々は、昔ながらの方法で調理し、屋内を暖めています。

➡ **フィリップスの考え**：フィリップスは、エネルギー効率を高めるコラボレーションと革新的なソリューションが、目標7を達成するためのあらゆる戦略に盛り込まれていなければならないと考えています。

## パートナーシップとソリューション

### フィリップスのコミュニティライトセンター

フィリップスのコミュニティライトセンターは、アフリカ全土でオフグリッドコミュニティによる日没後の社会的・経済的発展のための活動を可能にします。

- 100施設2016年までにアフリカ全土で100施設、ラテンアメリカに30施設のコミュニティライトセンター(CLC)を開設する予定です。
- CLCの面積は1,000m<sup>2</sup>で、照明には太陽光発電型LED照明技術が使われています。

### フィリップスのソーラーLEDランタンソリューション

フィリップスのソーラーLEDランタンは、室内で石油ランプの油煙や薪を燃やした煙を吸うことで女性や子どもたちが健康を害されないように、開発されました。

- ケニアでは、毎週**75,000人**の人々が煙の吸入による健康上の悪影響を被っています。
- 年間コストはこれまでの**€50**に対してランタンは**€10~20**、照明寿命は10倍長くなります(最長40時間)。

### 国際的なパートナーシップ



フィリップスは、**ユネスコ国際光年(UNESCO INTERNATIONAL YEAR OF LIGHT)**、国連のen.lightenイニシアティブをはじめとする複数のハイレベルなコラボレーションにおいて、主要な役割を果たしています。

## 目標 12：

持続可能な消費と生産のパターンを確保すること



**2050**

2050年までに世界の人口は90億人超に達します。

**2015**

2014年に世界中で廃棄された電気電子機器廃棄物は4,180万トンにのぼり、リサイクルされたのは推定650万トンにすぎません。

➡ **フィリップスの考え**：フィリップスは、目標12が達成されるためには、ビジネス主導でより持続可能な世界への移行を進めなければならないと考えています。

## パートナーシップとソリューション

### フィリップスは、循環型経済と「グリーンオペレーション」プログラムを通じ、フィリップスにおける持続可能な消費と生産のパターンに重点を置いて、循環思考を推進しています。

- 2014年、フィリップスの産業廃棄物総排出量の**81%**が、リサイクルの結果として再利用されました。
- 目標は、2015年までにフィリップス製品に含まれる再利用物質の量を2009年と比較して2倍にすることです。

### フィリップスの「シティファーム」プログラムは、大学やパートナーと連携し、個々の作物に合わせたテイルメイドのLEDグローライトを利用する屋内農場を開発しています。

- 持続可能な方法による年間**20~25回**の収穫。
- ↓ 運営費用の低減。
- 最大**85%**のエネルギー利用低減。

### フィリップスの「Refurbished Systems」プログラムは医療機器システムを再生させ、新しい機器と比較することで次の結果が得られます。

- CO2排出量の**低減**。
- 原料消費量の**削減**。
- エネルギー使用量の**削減**。

出典：  
1. USAID Global Health Program: 2016 President's Budget Request  
2. Centers for Disease Control and Prevention: Global Health Protection & Security - NCDs  
3. Philips News Center 2014: Innovating for a healthier, more sustainable world

4. ASEAN Non-Communicable Diseases (NCD) Network  
5. RAD-AID India: Ray of Hope  
6. World Energy Outlook: Global energy trends to 2035  
7. Philips News Center: Solar-powered LED luminaires from Philips can brighten the homes of millions

8. United Nations Population Fund: World Population Trends, 2015  
9. United Nations University Report: The Global E-waste Monitor 2014: Quantities, Flows and Resources  
10. Philips Lighting: The need for city farming  
11. Philips Sustainability: Refurbished systems program

